

嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」 利活用推進協議会進捗状況について

平成30年12月5日
嘉麻市 地域活性推進課

第 1 回協議会の状況

【福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会委員名簿】

区分	団体名	氏名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹	会長
	近畿大学産業理工学部	飯島 高雄	
2号委員	行政区長会	村上 曙生	
	行政区長会	山根 國治	
	山田高等学校同窓会	三船 國弘	副会長
	山田高等学校同窓会	武谷 節夫	
	嘉麻商工会議所	中村 博美	
	嘉麻市商工会	富金原 健三	
	社会福祉協議会	木山 淳一	
3号委員	公募委員	加藤 結花	
	公募委員	岸本 麻衣子	
	公募委員	美林 純子	

【第1回協議会】

平成30年2月2日(金)

- ・委嘱書の交付
- ・会長及び副会長の選任
- ・諮問



写真1 諮問の様子
(左から 三船副会長, 井原会長, 赤間市長)

▽福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会 諮問書



29嘉地第654号
平成30年2月2日

福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会
会長 井原 徹 殿

嘉麻市長 赤間 幸弘



山田高等学校跡地利活用推進に伴う下記事項について、福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例(平成29年嘉麻市条例第34号)第2条の規定により、貴協議会の意見を求めます。

記

- 1 福岡県立山田高等学校の跡地の利活用推進計画(案)に関する事項。
- 2 その他福岡県立山田高等学校の跡地の利活用に關し、市長が特に必要と認める事項。

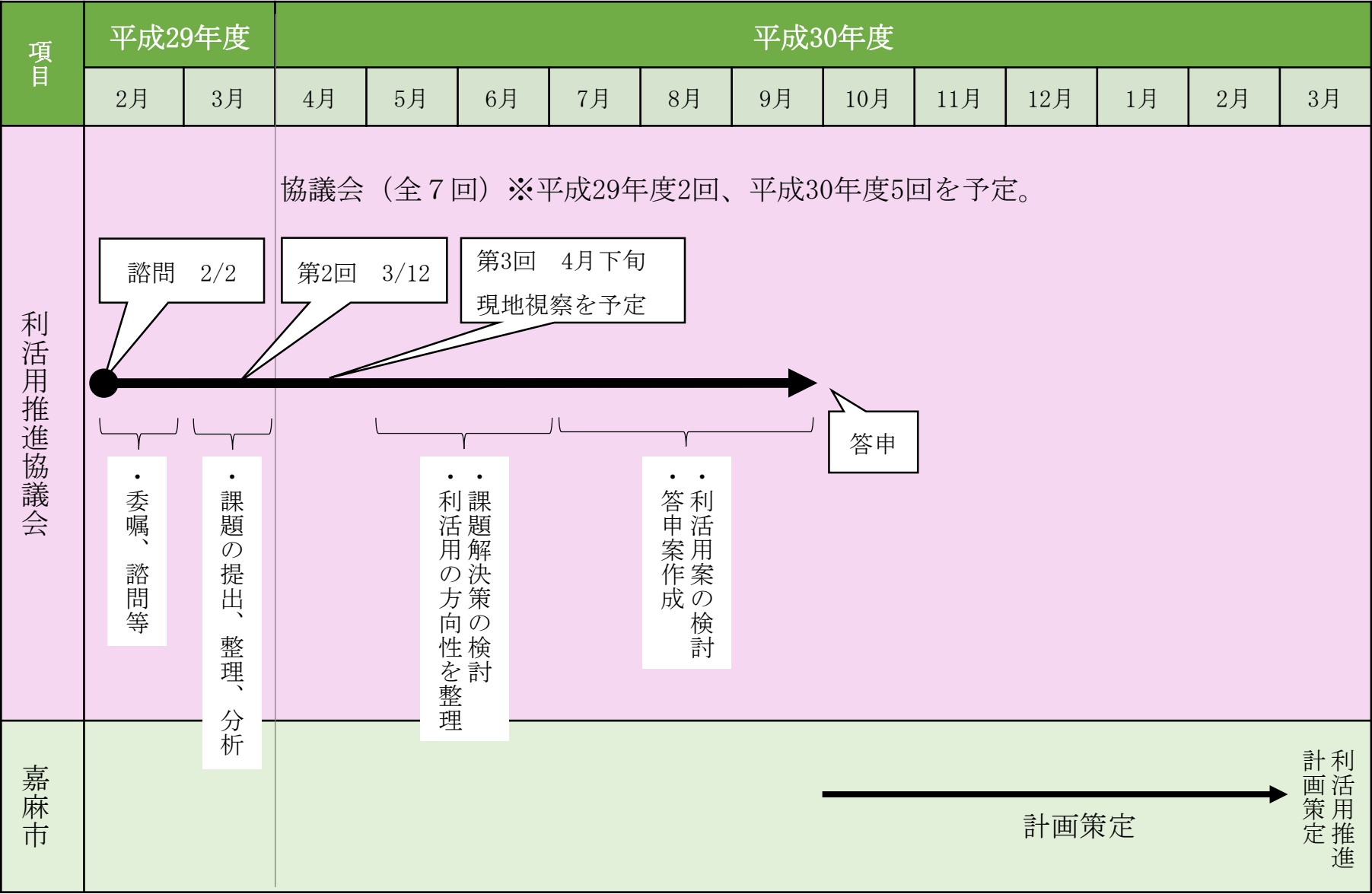
諮 問 理 由

平成19年3月に福岡県立山田高等学校が廃校となり、跡地の利活用について検討を行ってきたところです。平成21年5月の「嘉麻赤十字病院の充実と旧山田高等学校跡地の医療的活用に関する請願書」を受け、嘉麻赤十字病院と外来駐車場、移転先の候補地として協議を行ってきましたが、平成29年2月に嘉麻赤十字病院から移転断念の報告を受けたところです。同年6月に嘉麻市山田高等学校跡地整備検討委員会を設置し庁内において検討を重ねておりましたが、平成29年11月の嘉麻市山田地域整備協議会の答申において、「旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。」と示されたことにより、協議会を設置し、旧山田高等学校跡地の利活用方法について、住民の方々と協議、検討を行うことといたしました。

市内各地域がそれぞれの特性をいかした地域づくりを進めている嘉麻市において、山田地域のほぼ中心に位置する、約40,000㎡の土地の利活用方法について、協議、検討いただくことは、山田地域のみならず、本市の将来のまちづくりを行う上で、重要な役割を担うものであると考えられます。

以上のことから、貴協議会におかれましては、実現可能なより良い旧山田高等学校の跡地利活用につきまして大所高所からの調査協議をお願いし、利活用推進の取り組みに対し、答申を賜りたく諮問する次第であります。

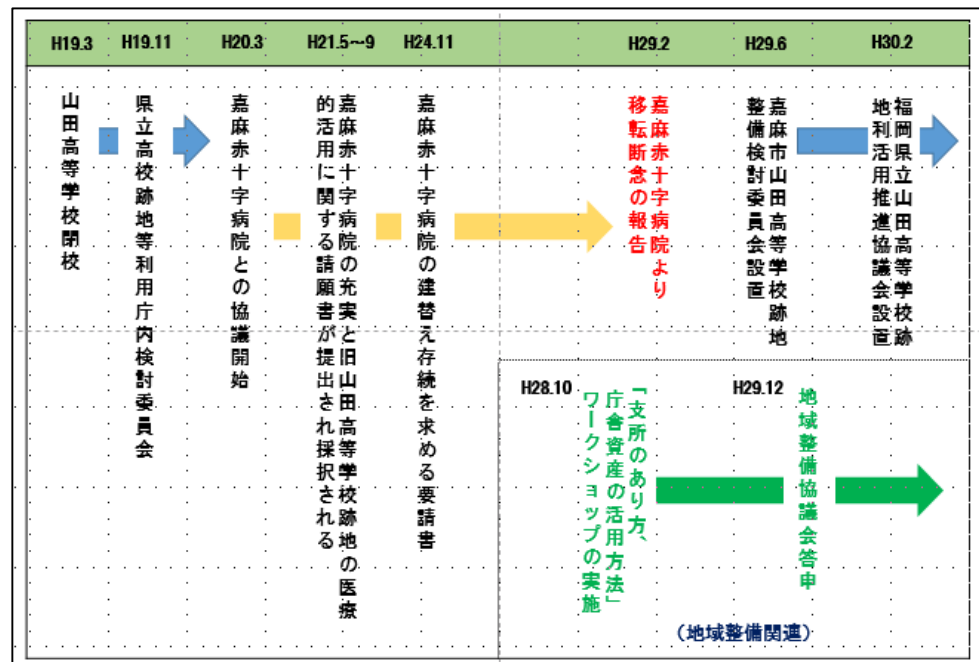
第1回協議会の状況



【第2回協議会】



県立高校跡地等利用庁内検討報告書 平成20年3月28日



山田高等学校閉校から嘉麻赤十字病院との協議を経て協議会設置に至るまでの経過を掲載

平成30年3月12日(月)

過去に庁内に設置されていた『県立高校跡地等利用庁内検討委員会』の報告書や各種資料を用いてこれまで行われてきた、利活用に関する検討結果と協議会設置に至るまでの経緯を説明。

各委員の考える現時点での利活用案も出し合った。

第1回協議会で委員から要望のあった現地視察の日程調整を行った。

【第3回協議会】

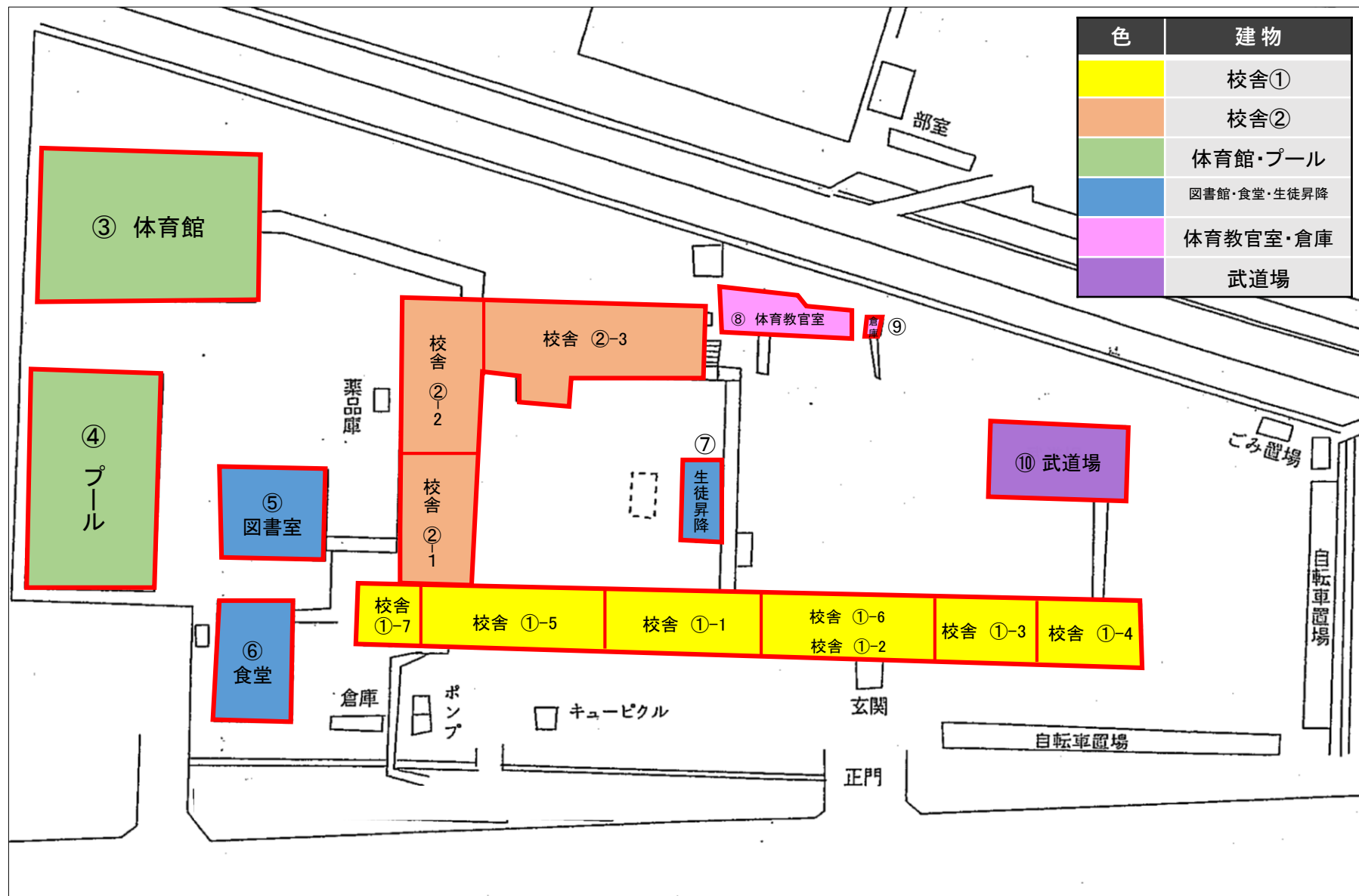


平成30年4月23日(月)

山田高等学校跡地現地視察の実施

敷地内に残る主な建物(校舎、体育館、武道場、プール、食堂、図書室等)の内部を視察し現状把握を行った。

第3回協議会の状況



第3回協議会の状況（現場状況：校舎①）



玄関前屋根



玄関前屋根



校舎1階廊下



天井板崩落



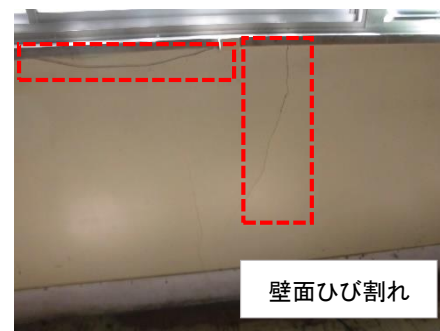
校長室
クロス剥がれ



応接室
クロス剥がれ



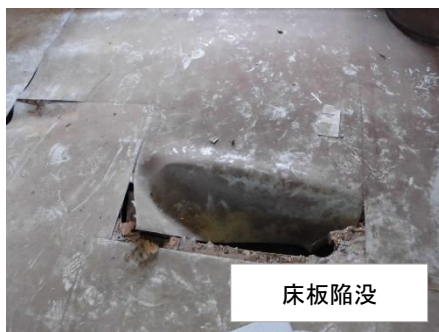
床材の腐食



壁面ひび割れ



警備室



床板陥没



天井梁剥離



教室床面雨漏

校舎①部分においては1階部分の部屋の劣化が激しかった。校長室や応接室、警備室などは床面が浮き上がっている箇所、床板が陥没している箇所が存在し、天井板の崩落等も確認された。廊下部分は浸水が原因で全体的に泥が堆積していた。2階部分においては比較的綺麗な教室もあったが、教室内での雨漏りや天井梁の剥離が確認された箇所もあった。

第3回協議会の状況（現場状況：校舎①）



天井雨漏



教室床雨漏



天井雨漏



2階会議室



2階会議室



天井板剥離



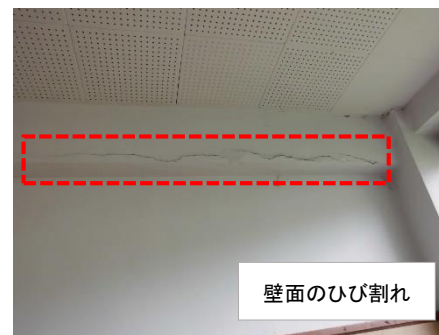
天井梁剥離



3階美術室



床面の劣化



壁面のひび割れ



2F～3F 階段
天井亀裂



壁面の亀裂

校舎①の2階、3階部分で特に劣化が激しかったのは校舎東端の会議室（2階）とその真上の部屋にあたる美術室である。会議室部分は雨漏りによる浸水で床材が腐食し、全て浮き上がっていた。天井部分においても天井板やモルタルが剥離し崩落している箇所が多数あった。3階美術室も同様に雨漏りが原因で床材が剥がれ天井も崩落していた。2階から3階に昇る階段には天井と壁面に大きな亀裂が確認された。

第3回協議会の状況（現場状況：校舎②）



校舎②は校舎①との境の部分でコンクリートが激しく崩落していた。美術室との境の部分でも漏水とコンクリートの剥離が確認された。校舎南側の教室部分は比較的綺麗であったが窓ガラスが割れていることもありガラスが散乱している状況であった。和作法室や書道室では畳が雨漏りによって損傷しており天井板も崩落している箇所が多かった。

第3回協議会の状況（現場状況：③体育館、④プール）



体育館内部



体育館内部



体育館内部



体育館内部



1階下駄箱



多目的アリーナ
雨漏跡



梁根元の亀裂



多目的アリーナ
梁のたわみ



プール外観



プール壁面



プール天井



プール

体育館は他の場所に比べて比較的綺麗な印象であった。しかし、1階部分には雨漏りの跡が見られた他、2階部分を支える梁が湾曲し根元部分に亀裂が入っている箇所も見受けられた。
プールに関しては壁面塗装の剥がれや天井の剥離などが見られ、街路灯が腐食し倒れた状態で置かれていた。

第3回協議会の状況（現場状況：⑤図書室、⑥食堂、⑦生徒昇降）



図書室外壁



図書室外壁



図書室外壁



図書館内部



図書室内部



食堂外観



食堂屋根



食堂天井



食堂調理室



食堂調理室



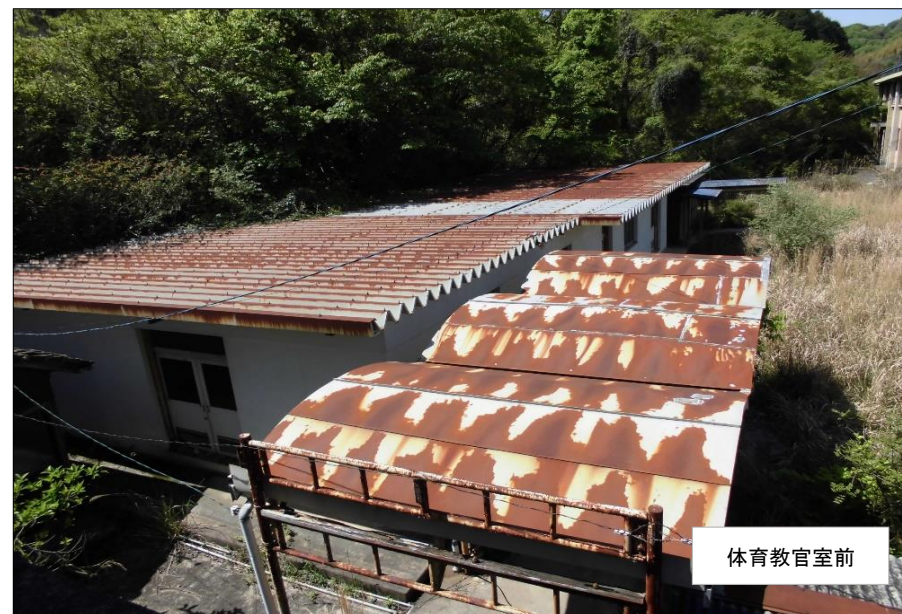
天井板落下



生徒昇降
防水シート剥れ

図書室、視聴覚室は比較的綺麗であったが多少は雨漏りの跡などが見られた。
食堂は調理器具がそのまま残されており、天井板が落下している箇所が見られた。
生徒昇降口には立ち入っていないが、校舎から屋根を見ると防水シートが剥がれた状態であった。

第3回協議会の状況（現場状況：⑧体育教官室、⑨倉庫）



建物の老朽化は進んでいる。屋根は錆が目立ち腐食している部分も見受けられた。
建物前の敷地には草が生い茂っていた。

第3回協議会の状況（現場状況：⑩武道場）



武道場入口付近にはツタが茂っており外壁に巻き付いていた。
内部は比較的綺麗であったが雨漏りをしている部分や腐食している部分も見受けられた。
部室内部には一部天井が剥離し落下している部分があった。

第3回協議会の状況（現場状況：グラウンド陥没地点）



グラウンドは陥没箇所以外特段目立った部分はなかったが、陥没の深さは徐々に深くなっていることが確認できた。陥没内の水は日によって溜まっていたり、抜けていたりを繰り返している。



H29.7.13



H30.2.21



H30.6.1

【第4回協議会】

平成30年5月15日(火)

前回の現地視察を踏まえ校舎の利活用の可能性について協議。

【協議会各委員からの主な意見】

- ・ 建物の利活用は難しい。
- ・ 建物の利活用を考えていたが、現地を見て困難であると思った。
- ・ 早く除却して、跡地の利活用を検討すべき 等

【第5回協議会】

平成30年6月19日(火)

協議会委員からの利活用案とコンサルタントからの利活用案を提出し協議。

コンサルタントからの利活用案に関しては3案の提案があった。

協議会としての方の意見がまとまった。

【協議会各委員からの主な意見】

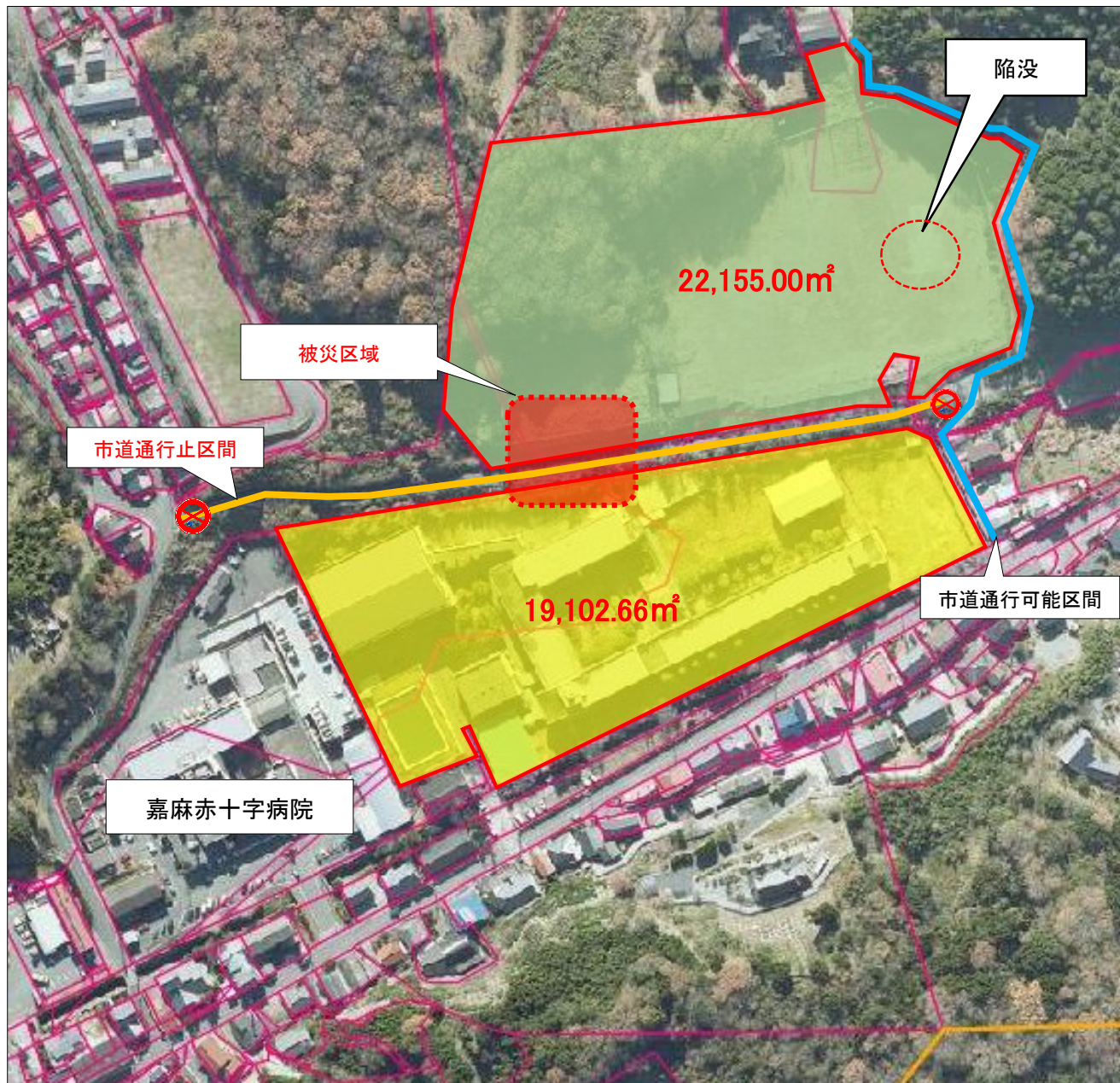
- ・ 山田地区は住宅地が多いが利便性を考えると山高跡地は住宅地の価値が高いのではないか。
- ・ 住宅地ベースで高齢者にも優しい住居環境をつくることで病院も活性化するのではないか。
- ・ 防災拠点、定住、公園・グラウンド・緑地の3つのキーワードで考えてはどうか。
- ・ 日赤病院と関連性のある施設を検討してはどうか。敷地付近は日赤が核になる。

協議会の開催状況と日程変更

変更前開催日時		
第1回	—2月2日(金)19時	開催済
第2回	—3月12日(月)19時	開催済
第3回	—4月23日(月)10時	開催済
第4回	—5月15日(火)19時	開催済
第5回	—6月19日(火)19時	開催済
第6回	8月21日(火)19時~	変更
第7回	9月18日(火)19時~	
変更後開催日時		
第1回	—2月2日(金)19時~	済
第2回	—3月12日(月)19時~	済
第3回	—4月23日(月)10時~	済
第4回	—5月15日(火)19時~	済
第5回	—6月19日(火)19時~	済
第6回	8月21日(火)19時~	
第6回	9月18日(火)19時~	
第7回	10月 日()19時~	

豪雨による災害発生に伴い対象敷地の整理やこれまでの協議内容の見直しが必要となった。

平成30年7月豪雨による被災状況について



被災区域の状況概要

- ・災害により市道が寸断され通行止めとなっている。
- ・市道上下の県有地法面で土砂崩れが発生している(識者の調査も必要)。
- ・学校敷地内の建物の一部に被災が出ており、用務員室は全壊。校舎も一部損傷している。
- ・市道通行可能区間も細く、勾配が急であり生活道路としては使用しづらい。
- ・市道の冬季の使用は困難と考えられる。
- ・今後の災害の発生を考えると必ずもう1本の道路が必要となる。

取付道路及びテニスコート下法面被災状況



取付道路及びテニスコート下法面被災状況



取付道路及びテニスコート下法面の現状（H30.7.23）



応急措置として災害現場南側（市道上）の法面へブルーシートを張るための下草刈りが行われていた。

※ H30.7.23 地域活性推進課確認分

取付道路及びテニスコート下法面現状（H30.7.25）



法面にブルーシートが張られている。
工事箇所が広範囲で複数のシートを繋げて
張っているため、台風等の際には注意が必要
と考えられる。

※ H30.7.25 地域活性推進課確認分

用務員室裏法面と用務員室の被災状況



用務員室裏法面と用務員室の被災状況



【第6回協議会】

平成30年9月18日（火） 19:00～開催

- 平成30年7月豪雨による被災状況の報告や、協議会開催の日程変更について、協議対象敷地の変更について協議を行った。
- 答申（案）について協議を行った。

第7回協議会の進捗状況

【第7回協議会】

平成30年10月23日(火) 19:00～開催

- ・第6回, 7回会議録の承認方法について
- ・答申(案)に対する意見と修正について
- ・答申

写真 答申の様子
(左から 三船副会長, 井原会長, 赤間市長) ⇒



※ 答申の一部を抜粋し掲載しています

1 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進計画(案)に関すること

(1)校舎と敷地について

- ・旧福岡県立山田高等学校敷地内の建物については、老朽化や耐震性を考慮し除却すること。なお、除却にあたっては、福岡県による除却を要望すること。
- ・嘉麻市(旧山田町)が寄附を行った旧福岡県立山田高等学校敷地内の土地に関しては、寄附条件に基づき福岡県に返還を求めること。
- ・平成30年7月6日(金)の豪雨により崩落した敷地法面及び市道については、速やかに復旧工事を行い敷地の安全性を確保すること。

(2)跡地の利活用について

- ・移住・定住を促進するための整備を行うこと。
- ・整備をする際は災害に対する安全性を十分に確保した上で実施すること。
- ・嘉麻赤十字病院に隣接している利点を最大限に活かし、嘉麻赤十字病院との相乗効果を得られるような整備(高齢者等の介護施設、災害時の備蓄スペース等)を検討すること。
- ・グラウンド敷地は被災箇所の復旧が行われた後、前述の内容を考慮し検討を行うこと。

2 その他附帯意見

- ・土地の条件等を十分に整理し、更なる機能についても検討を行うこと。
- ・雇用創出について検討を行うこと。
- ・嘉麻赤十字病院の存続に関し、更なる要望活動を実施すること。



平成30年10月23日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会

会長 井原 徹



嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用に関する答申について

平成30年2月2日付け、29嘉地第654号にて貴職から諮問のありました事項に関し、本協議会において慎重に協議を行った結果、下記のとおり答申します。なお、協議の資料等については、別添「協議会参考資料」の通りです。

記

【協議結果】

1 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進計画（案）に関する事

(1) 校舎と敷地について

- ・旧福岡県立山田高等学校敷地内の建物については、老朽化や耐震性を考慮し除却すること。なお、除却にあたっては、福岡県による除却を要望すること。
- ・嘉麻市（旧山田町）が寄附を行った旧福岡県立山田高等学校敷地内の土地に関しては、寄附条件に基づき福岡県に返還を求めること。
- ・平成30年7月6日（金）の豪雨により崩落した敷地法面及び市道については、速やかに復旧工事を行い敷地の安全性を確保すること。

(2) 跡地の利活用について

- ・移住・定住を促進するための整備を行うこと。
- ・整備をする際は災害に対する安全性を十分に確保した上で実施すること。
- ・嘉麻赤十字病院に隣接している利点を最大限に活かし、嘉麻赤十字病院との相乗効果を得られるような整備（高齢者等の介護施設、災害時の備蓄スペース等）を検討すること。
- ・グラウンド敷地は被災箇所の復旧が行われた後、前述の内容を考慮し検討を行うこと。

2 その他附帯意見

- ・土地の条件等を十分に整理し、更なる機能についても検討を行うこと。
- ・雇用創出について検討を行うこと。
- ・嘉麻赤十字病院の存続に関し、更なる要望活動を実施すること。

第7回協議会の進捗状況 答申書

【協議会経過及び開催状況】

(1) 第1回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
日時 平成30年2月2日(金) 19時00分～20時00分

<協議概要>

- ・赤間市長から各委員に委嘱書の交付を行った。
- ・会長は委員の互選により決めることとなっているが、委員より事務局一任との提案があり、お諮りをしたところ異議がなかったことから、事務局の提案で井原委員が会長に選任された。副会長は福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会条例第5条第3項の規定に基づき、会長の指名により三船委員が選任された。
- ・赤間市長より会長及び各委員に諮問が行われた。
- ・今後のスケジュールや協議内容について通知を行った。

(2) 第2回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
日時 平成30年3月12日(月) 19時00分～20時30分

<報告事項>

- ・基本計画策定業務受託業者決定の報告。
- ・福岡県立山田高等学校跡地利活用に関する過去の検討の経過等の報告。
- ・県立高校跡地等利用庁内検討委員会における過去の協議の経過について。
- ・嘉麻赤十字病院の建替え存続を求める要請書について。
- ・ワークショップ報告書について。
- ・山田地域整備協議会答申について。

<協議概要>

- ・各委員から跡地利活用についての提案があった。
- ・現地視察の日程が平成30年4月23日(月)に決定した。

(3) 第3回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
日時 平成30年4月23日(月) 10時00分～12時00分

※管理校の嘉穂総合高校白濱事務長同行のもと協議会委員、庁内跡地整備検討委員会委員が参加し、現地視察を実施。現地の現状について説明を受けた。

<報告事項>

- ・第2回協議会における利活用に関する課題点及び提案について報告。

<協議事項>

- ・第1回の会議録の承認について
⇒協議会内で承認された。

(4) 第4回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
平成30年5月15日(火) 19時00分～20時05分

<報告事項>

- ・第3回協議会で出された各委員からの意見、質問について回答。

<協議事項>

- ・旧福岡県立山田高等学校校舎利活用の可能性について
⇒校舎敷地の建物に関しては県に除却を要請し、除却した後の利活用について協議を行うことで一致した。
⇒陥没地について県に原因究明の申請をしてほしいとの要望があった。

(5) 第5回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
平成30年6月19日(火) 19時00分～20時00分

<報告事項>

- ・第4回協議会における各協議会委員からの意見、質問について回答。

<協議事項>

- ・第2回の会議録の承認について
⇒協議会内で承認された。
- ・跡地利活用の方向性について
- ・コンサルタンツからの跡地利活用提案について
⇒付加価値を持たせた住宅地としての利活用を基本とすることで決定した。
付加価値に関してはコンサルタントが整理を行い、発送する資料を確認することで合意した。

(6) 第6回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会
平成30年9月18日(火) 19時00分～20時35分

<報告事項>

- ・協議会名称変更の報告。
- ・国道沿ブロック塀について管理校からの連絡事項を報告。

<協議事項>

- ・第4回、第5回会議録の承認について
⇒協議会内で承認された。
- ・平成30年7月豪雨による被災状況、協議会開催の日程変更、協議対象敷地の変更について
⇒更なる崩落を防ぐため、県と協議を行い、1日も早い復旧をしてもらうよう要望することで一致した。
⇒第7回の協議会の開催日を10月23日(火)に決定した。

第7回協議会の進捗状況 答申書

⇒被災を受けたことにより、上部グラウンドと校舎敷地の一部を協議対象から外す事で合意した。

- ・コンサルタンツから提供を受けた資料について協議を行った。

⇒嘉麻赤十字病院と隣接している利点を最大限に活用し、嘉麻赤十字病院との相乗効果を得られるよう整備を行うことで決定した。

- ・答申（案）について

⇒協議会内で提案された意見を基に修正を行い、送付する答申（案）を確認し、期日までに修正意見を提出することで決定した。

（7）第7回 嘉麻市「福岡県立山田高等学校跡地」利活用推進協議会

平成30年10月23日（火）19時00分～19時30分

<協議事項>

- ・第6回、第7回の会議録の承認について

⇒送付する会議録を確認し、期日までに修正意見を提出する事で合意した。

その後、正副会長と打合せを行った上で承認とすることで合意した。

<答申>

- ・井原会長より市長へ答申が行われた。

【協議会委員名簿】

区 分	団 体 名	氏 名	備 考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹	会長
	近畿大学産業理工学部	飯島 高雄	
2号委員	行政区長会	村上 曙生	
	行政区長会	山根 國治	
	山田高等学校同窓会	三舩 國弘	副会長
	山田高等学校同窓会	武谷 節夫	
	嘉麻商工会議所	中村 博美	
	嘉麻市商工会	富金原 健三	
	社会福祉協議会	木山 淳一	
3号委員	公募委員	加藤 結花	
	公募委員	岸本 麻衣子	
	公募委員	美林 純子	

◆ 被災箇所と災害に関する答申内容

- ・平成30年7月6日(金)の豪雨により崩落した敷地法面及び市道については、速やかに復旧工事を行い敷地の安全性を確保すること。
- ・整備をする際は災害に対する安全性を十分に確保した上で実施すること。

◆ グラウンドに関する答申内容

- ・グラウンド敷地は被災箇所の復旧が行われた後、前述の内容を考慮し検討を行うこと。

※ 一部陥没箇所が存在する。



◆ 嘉麻赤十字病院に関する答申内容

- ・嘉麻赤十字病院に隣接している利点を最大限に活かし、嘉麻赤十字病院との相乗効果を得られるような整備(高齢者等の介護施設、災害時の備蓄スペース等)を検討すること。
- ・嘉麻赤十字病院の存続に関し、更なる要望活動を実施すること。(その他附帯意見)

◆ 校舎と敷地に関する答申内容

- ・旧福岡県立山田高等学校敷地内の建物については、老朽化や耐震性を考慮し除却すること。なお、除却にあたっては、福岡県による除却を要望すること。
- ・嘉麻市(旧山田町)が寄附を行った旧福岡県立山田高等学校敷地内の土地に関しては、寄附条件に基づき福岡県に返還を求めること。
- ・移住・定住を促進するための整備を行うこと。
- ・土地の条件等を十分に整理し、更なる機能についても検討を行うこと。(その他附帯意見)
- ・雇用創出について検討を行うこと。(その他附帯意見)

2018年10月25日(木)

朝日新聞

H30.10.25 朝

閉校の嘉麻・山田高跡地

「県に解体要望を」

協議会答申

2007年3月に閉校した県立山田高校(嘉麻市)跡地の利活用について話し

得られる整備を検討するよう求めている。

合う協議会(会長、井原徹

・近畿大学産業理工学部長)は23日夜、建物の解体を県に求めることや、定住を促進するための整備を求める答申書を赤間幸弘市長に出した。

市によると、山田高校の跡地には嘉麻赤十字病院の移転が検討されたが実現しなかった。市は答申を受け、今年度中に利活用の計画を策定する予定だ。

(垣花昌弘)

跡地の面積は約4万1千平方メートル。現在も校舎や体育館が残る。いずれも県が所有し、利用されていない。

答申では、建物は老朽化や耐震性を考慮して県に解体を要望するとし、嘉麻市(旧山田町)が県に寄付した土地の返還や、7月の豪雨で崩落した敷地のり面などの復旧工事を求めた。

利活用については、移住・定住促進のための整備や、嘉麻赤十字病院に隣接する利点を最大限に生かし、介護施設や災害時の備蓄スペースなど相乗効果が

今後のスケジュールについて

